

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ http://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務部：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

第62期報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日

NKKスイッチズ株式会社

スイッチ分野で世界のトップを目指す——

事業拡大よりもお客様に信頼され、感動していただける差別化された
特長ある企業を目指しています。

販売強化4項目がすべて2桁成長し、 増収増益を達成。 さらなる競争力強化・体質強化に 尽力します。

代表取締役社長

大橋智成



この1年の産業用スイッチ市場の状況と、 当期の業績概況をお聞かせください。

2015年3月期における日本経済は、政府や日銀の経済・金融政策が奏効し、企業収益や雇用環境が改善いたしました。

産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましても、中国市場は成長減速が見られるものの、北米市場は堅調に推移しており、日本市場も緩やかながらも回復しつつあります。さらに、為替が大幅に円安に進んだことから日本の製品が買われやすい状況となり輸出が好調に推移し、一般社団法人日本電気制御機器工業会（NECA）によれば、2014年度の操作用スイッチ出荷総額は前年比4.8%増でした。

こうした中、当社グループは一層加速するグローバル化・ボーダレス化の社会に順応しながら世界 No.1の産業用スイッチメーカーになるため、2014年4月より3カ年の中期経営計画「Accomplish100」をスタートさせました。売上面では販売強化項目として掲げた「ネット販売」・「タッチパネル」・「IS」・「特定市場」の4項目の拡販に取り組んだ結果、すべてが過去最高の売上高となりました。生産面では、「いわき工場（福島県いわき市）」を拡充しタッチパネル専用工場とし、2015年1月からフル稼働を開始しました。また、市場へNKK商品を安定供給するため、第3の生産拠点として

フィリピンに子会社を設立する準備を進めました。開発面では、新商品の構想段階で確認サンプルを短時間に作る事ができる最新鋭3Dプリンター光造形機や解析ソフトを導入するなど、さらなる成長と競争力強化のための開発環境の拡充に積極的に投資いたしました。

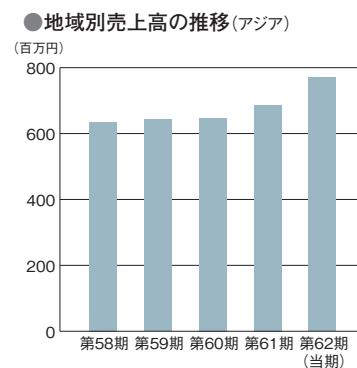
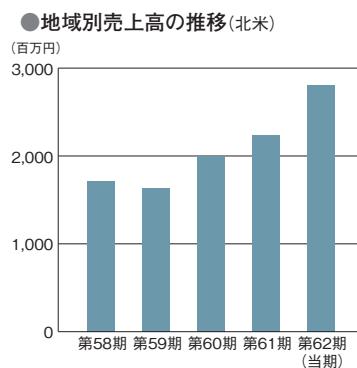
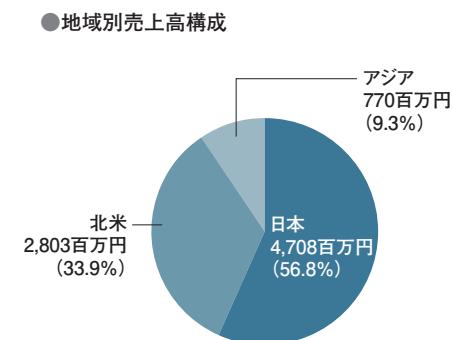
次に地域別売上高概況ですが、日本市場は総じて回復傾向があるものの、全体としては弱含みの状態が続きました。その中でグループの販売強化項目を中心に積極的に営業に取り組んだ結果、前年同期比23.0%増となりました。北米市場においては、新たな市場を開拓しながら順調に成長したことに加えて為替の影響もあり、同25.4%増となりました。さらに、当社が第3の市場として位置づけている中国市場におきましては、成長率は鈍化しているもののまだ高い水準にあり、NKKブランドの認知度も着実に向上していることから、売上高は同93.7%増、外部顧客向売上高は同12.1%増となりました。

これらの結果、当社グループの第62期における売上高は82億8千3百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は6億9千8百万円（同9.0%増）、経常利益は8億4千7百万円（同19.6%増）となりました。

中期経営計画「Accomplish100」の販売強化項目にネット販売網の拡充を入れた意図は何でしょうか。

当社はターゲット市場に定めている北米市場において、ローカルディストリビューター（LD）、グローバルディストリビューター（GD）、さらにカタログディストリビューター（CD）と販売網を拡大してきました。CDとの個々の取引はGDに比べれば少額ながら、お客様のデザインエンジニアリングレベルでの新規デザインに採用されれば、将来的に量産化に進んだ段階での大量受注が期待できます。また、当社グループのセールスネットワークをもってしてもカバーできない困難な地域については、インターネットをフル活用することで販売範囲の拡大に努めてまいります。2015年3月期においてはCDとの関係強化に努めたことが奏功し、CDのホームページへのNKK商品掲載品目、在庫数ともに大幅に増加いたしました。日本市場のオンラインショップも併せて、ネット販売の売上高は大幅に増加しております。今後もインターネットを活用したビジネスモデルを充実させてまいります。

■ 地域別売上高の推移



IS、タッチパネル、特定市場の販売状況はいかがでしたか。

IS（多機能操作スイッチ）シリーズについては、2015年3月期においても放送音響機器業界を中心に販売が伸びましたが、世界的にはまだまだ成長余地が大きく、今後に期待を持っております。また、タッチパネルは産業機械向けに需要が伸びていることから、クリーンルーム拡張や生産設備増強などの投資によりいわき工場（福島県いわき市）をタッチパネル専用工場としました。最新鋭設備を導入したことで生産効率が向上し、今後、業績に貢献をしていく予定です。一方で、特定市場につきましては、ターゲット市場の日本・北米・中国でそれぞれの市場に合わせた特定市場を定め拡販を推進しておりますが、NKK商品はそれぞれの市場で高度な要求に十分に答えられる品質があると自負しております。今後、さまざまな施策を講じて販売拡大につなげてまいります。

「iFプロダクトデザイン賞」を受賞されました。どのような感想をお持ちですか。

本年2月、当社商品「有機ELディスプレイフルスクリーンカラーIS」および「YB2ハーフミラーボタン」が、ドイツの国際的なデザイン賞である「iFデザイン賞」を受賞いたしました。この賞は全世界の工業製品の中から優れたデザインに贈られるもので、デザインの独創性、革新性、機能面での使いやすさ、品質、環境への配慮などが総合的に評価されます。また、レッドドット・デザイン賞（ドイツ）、IDEA賞（アメリカ）と並ぶ世界で最も権威あるデザイン賞でもあります。「有機ELディスプレイロックIS」は日本において2008年にグッドデザイン賞を受賞しておりますが、今回は世界53カ国、4,783件の応募の中からプロダクト部門において当社商品が受賞することができました。なにより、世の中にないモノを作ったことが評価につながったと考えております。

執行役員制度の導入を発表されましたが、どのような背景があったのでしょうか。

経営を取り巻く環境はきわめて激しい勢いで変化しており、企業は環境変化に即応して迅速に意思決定を行うことが必要であると考えております。前述したように当期の業績は大幅な増収増益となりましたが、社内的には実現できなかった目標も数多見受けられました。そのギャップが生じた原因は、意思決定がすべて役員に集中していたために“交通渋滞”が発生し、適切なタイミングでの意思決定ができなかったことが大きな要因のひとつであると分析しております。意思決定を迅速に行い、環境変化に即応するためには、業務の第一線の責任者に権限を付与し、行動の裁量権を確保することが必要であり、それを実現するため経営と執行を分離し、「経営の効率化」「業務の効率化」「意思決定の迅速化」を図るこ

とにより、真の「Great Small Company」を実現していきたいと考えております。

2016年3月期の事業環境については、どのように見ていらっしゃいますか。

当期は北米市場の売上が業績に大きく貢献しましたが、景気には薄雲が広がっています。アメリカの景況は直ちに日本に影響しますし、中国にも減速感があります。足下をきちんと見て経営しなければと気を引き締めております。世界に視野を広げ、社員一人ひとりが計画成就に執着して業務を遂行し、カタログディストリビューターによる売上高の拡大を図るなど、事業戦略を確実に遂行してまいりたいと考えております。

最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループは昨年4月、今後進展する社会のグローバル化、ボーダーレス化に先んじて手を打ち、「我々こそが世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーに必ずなる」という思いから長年親しまれてきた日本開閉器工業株式会社の商号をNKKスイッチズ株式会社に変更すると同時に、新中期経営計画「Accomplish100」をスタートさせました。グループとして世界全体を1つの市場としてとらえ、さらに競争力強化と体質強化に尽力してまいります。

株主の皆様にはこの点をなにとぞご理解いただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

いわき工場、タッチパネル専門工場として生産増強

NKKはスイッチ専門メーカーとして長年培ってきたスイッチ技術を活かし、抵抗膜方式タッチパネル事業を展開しています。このタッチパネルを現中期経営計画の中で中核の事業に成長させるべく強気に推進しております。その一環として、今後の市場ニーズに対応するため、いわき工場のクリーンルームを従来比2.3倍に拡張し、新規設備の導入を実施するなどして供給能力・生産効率・品質の向上に努め、いわき工場のタッチパネル専門工場化を実施しました。国内一貫生産による高品質を強みに、ユーザーの細かく多様な要望に対する商品の提供、少ロット対応、カスタム品の柔軟な対応で実績を拡大しています。



いわき工場 クリーンルーム

iF プロダクトデザイン賞 2015受賞

「有機ELディスプレイ フルスクリーンカラーIS」と「YB2ハーフミラーボタン」がドイツの国際的なデザイン賞を受賞しました。

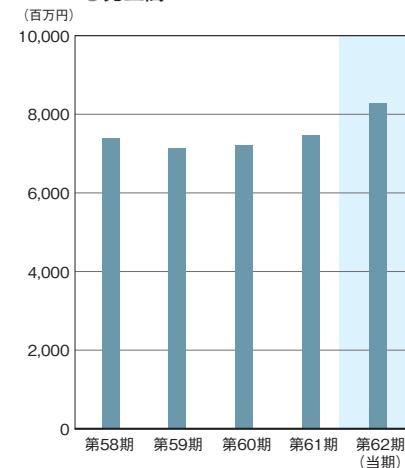
iFデザイン賞は、1953年に設立され全世界の工業製品から優れたデザインに贈られる賞です。デザインの独創性、革新性、機能面での使いやすさ、品質、環境への配慮などが総合的に評価されます。レッドドット・デザイン賞（ドイツ）、IDEA賞（アメリカ）と並ぶ世界三大デザイン賞として、世界で権威ある賞の一つです。

2015年は、世界53カ国・4,783件の応募があり、世界の専門家からなる53名の審査員から、当社2商品がプロダクト部門において高く評価され選出されました。

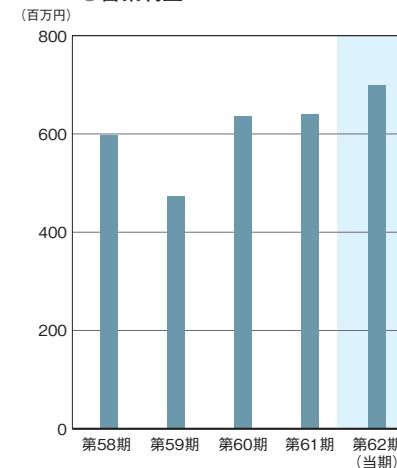


OLEDフルスクリーンカラーIS (左)
YB2ハーフミラーボタン (右)

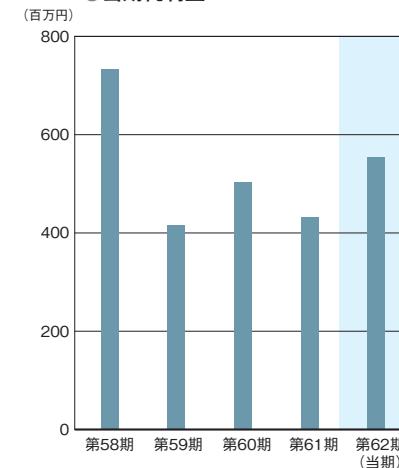
●売上高



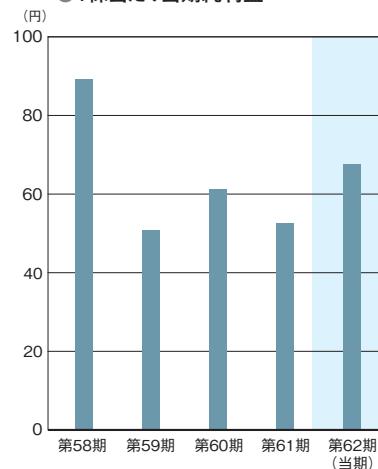
●営業利益



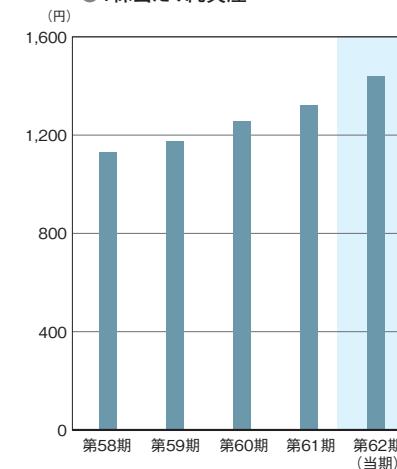
●当期純利益



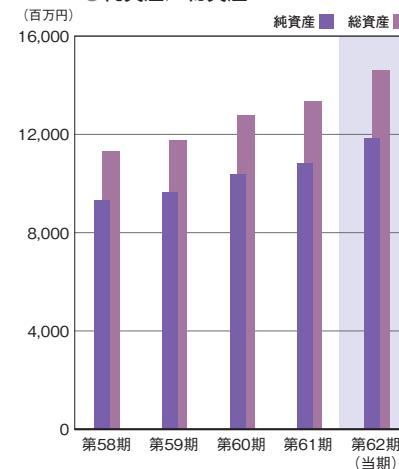
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産



●純資産／総資産



■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成27年3月31日)	前期 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産	10,940,420	10,003,716
現金及び預金	6,199,847	5,960,142
受取手形及び売掛金	1,526,160	1,473,704
商品及び製品	1,169,272	870,022
仕掛品	141,679	125,710
原材料及び貯蔵品	1,409,845	1,375,409
繰延税金資産	282,868	111,467
前払費用	42,835	29,100
その他	170,850	60,943
貸倒引当金	△2,941	△2,783
固定資産	3,671,720	3,350,672
有形固定資産	1,561,864	1,443,537
建物及び構築物	876,066	764,829
機械装置及び運搬具	123,840	95,785
工具・器具・備品	176,085	202,083
土地	385,872	378,130
建設仮勘定	—	2,708
無形固定資産	492,039	603,610
投資その他の資産	1,617,816	1,303,524
投資有価証券	1,228,982	927,350
長期預金	200,000	200,000
その他	188,833	176,173
資産合計	14,612,140	13,354,388

(単位:千円)

科目	当期 (平成27年3月31日)	前期 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債	2,191,784	1,962,345
支払手形及び買掛金	1,222,151	1,226,269
未払法人税等	194,282	67,905
賞与引当金	95,319	96,588
役員賞与引当金	24,000	24,000
未払金	333,344	323,044
未払消費税等	2,595	5,220
未払費用	241,319	173,953
その他	78,771	45,363
固定負債	562,629	508,841
繰延税金負債	196,272	118,900
退職給付に係る負債	99,959	97,122
役員退職慰労引当金	149,600	175,900
その他	116,797	116,918
負債合計	2,754,413	2,471,186
純資産の部		
株主資本	11,232,020	10,759,974
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,606,972	9,134,361
自己株式	△160,056	△159,491
その他の包括利益累計額	625,705	123,227
その他有価証券評価差額金	455,320	236,602
為替換算調整勘定	170,385	△113,375
純資産合計	11,857,726	10,883,202
負債純資産合計	14,612,140	13,354,388

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	8,283,188	7,459,475
売上原価	4,874,318	4,346,917
売上総利益	3,408,869	3,112,558
販売費及び一般管理費	2,710,869	2,471,900
営業利益	698,000	640,657
営業外収益	176,364	92,922
営業外費用	27,124	25,323
経常利益	847,240	708,256
特別損失	1,339	6,843
税金等調整前当期純利益	845,900	701,413
法人税、住民税及び事業税	464,198	261,751
法人税等調整額	△173,238	6,214
少数株主損益調整前当期純利益	554,941	433,446
当期純利益	554,941	433,446

■ 連結株主資本等変動計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	951,799	833,305	9,134,361	△159,491	10,759,974	236,602	△113,375	123,227	10,883,202
当期中の変動額									
剰余金の配当	—	—	△82,330	—	△82,330	—	—	—	△82,330
当期純利益	—	—	554,941	—	554,941	—	—	—	554,941
自己株式の取得	—	—	—	△564	△564	—	—	—	△564
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	218,717	283,760	502,478	502,478
当期中の変動額合計	—	—	472,610	△564	472,046	218,717	283,760	502,478	974,524
当期末残高	951,799	833,305	9,606,972	△160,056	11,232,020	455,320	170,385	625,705	11,857,726

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	643,868	475,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△503,188	△321,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,774	△100,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	181,799	79,550
現金及び現金同等物の増減額	239,705	134,122
現金及び現金同等物の期首残高	5,960,142	5,826,020
現金及び現金同等物の期末残高	6,199,847	5,960,142

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成27年3月31日)	(平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,088,937	8,554,903
固定資産	3,712,288	3,351,998
資産合計	12,801,226	11,906,901
負債の部		
流動負債	2,109,050	1,888,289
固定負債	543,722	449,196
負債合計	2,652,773	2,337,486
純資産の部		
株主資本	9,693,132	9,332,812
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,068,083	7,707,199
自己株式	△ 160,056	△ 159,491
評価・換算差額等	455,320	236,602
純資産合計	10,148,452	9,569,415
負債純資産合計	12,801,226	11,906,901

■ 株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式			その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等		純資産合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益剰余金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金							
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	24,608	5,600,000	1,900,674	7,707,199	△ 159,491	9,332,812	236,602	236,602	9,569,415	
当期中の変動額														
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	△ 82,330	△ 82,330	-	△ 82,330	-	-	△ 82,330	
固定資産圧縮積立金の取崩	-	-	-	-	△ 1,107	-	1,107	-	-	-	-	-	-	
実効税率変更に伴う固定資産圧縮積立金の増加	-	-	-	-	1,102	-	△ 1,102	-	-	-	-	-	-	
当期純利益	-	-	-	-	-	-	443,214	443,214	-	443,214	-	-	443,214	
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 564	△ 564	-	-	△ 564	
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	218,717	218,717	218,717	
当期中の変動額合計	-	-	-	-	△ 4	-	360,888	360,883	△ 564	360,319	218,717	218,717	579,037	
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	24,603	5,600,000	2,261,562	8,068,083	△ 160,056	9,693,132	455,320	455,320	10,148,452	

■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
売上高	6,856,945	5,560,593
売上原価	4,612,191	3,547,153
売上総利益	2,244,753	2,013,439
販売費及び一般管理費	1,940,444	1,797,096
営業利益	304,309	216,343
営業外収益	311,724	104,971
営業外費用	9,094	77,862
経常利益	606,939	243,452
特別損失	468	6,843
税引前当期純利益	606,470	236,609
法人税、住民税及び事業税	257,748	78,792
法人税等調整額	△ 94,492	26,701
当期純利益	443,214	131,114

■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES. CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結207名 単体169名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ パイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司
ホームページ	http://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 (JASDAQ)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
常務取締役	市川 忠夫
取締役	青木 明裕
取締役	大橋 宏成
取締役	塚 正 勉
取締役	大貫 一 光
常勤監査役	中村 正
監査役	佐藤 悦雄
監査役	片山 隆之

■ 株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	8,425,200株
株主数	652名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッチ	1,320	16.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	493	5.98
株式会社三井住友銀行	410	4.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	348	4.23
大橋 宏成	293	3.55
大橋 尚子	280	3.40
太陽生命保険株式会社	225	2.74
大橋 千津子	201	2.44
大橋 智成	192	2.34
富岡 友子	186	2.26

(注) 1. 当社は、自己株式を192千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

